


(シラバスNo.8)

科目名	臨床心理学特論	科目コード	24P-A2	
		科目群名	(2021年カリキュラム) 関連科目	
	(2024年カリキュラム) 専門科目 (A群)			
	Advanced Seminar on clinical psychology	必修/選択	選択	
教職		小・中・高		
担当教員	芳川 玲子	単位数	2	

【授業概要】

臨床心理学は、悩みや病気、障害などを抱えた人を理解し、支援することを目的とした心理学の一分野である。本講義では、臨床心理学を支える精神医学の知識を基礎知識として学び、そこから人の発達段階に沿った内容、さらに、支援のための心理療法について講義を行う。

授業では資料講義で終わることがないように、受講者の興味関心や実践に応じた自主発表、グループに分かれての討議、理論と実践両方の理解の深化をねらう。受講者のニーズに合わせて内容をある程度焦点化して行うこともあるが、原則として授業計画にある内容を扱う。

【授業の到達目標】

- ①臨床心理学の知識と技法を理解できる
- ②臨床心理学の各概念と対応について理解できる
- ③心理臨床のケースについてアセスメントと心理療法の選択ができる

【授業の形態】

メディア授業の実施 (あり)

<授業の特徴> (主に実施に◎、実施に○を付けてください)

形態	実施	具体的に実施すること
講義	○	各授業回のテーマに沿った資料の配付
グループワーク・質疑	◎	受講者全員による授業回テーマの討議
演習		
プレゼンテーション	◎	各授業回で受講者による発表
制作		
その他 ()		

【授業計画】

回	内 容
1	ガイダンス
2	臨床心理学とは何か
3	臨床心理学と精神医学 1：統合失調症と気分の障害
4	臨床心理学と精神医学 2：不安障害とパーソナリティ障害
5	臨床心理学と精神医学 3：ストレスと精神疾患
6	臨床心理学と心健康教育
7	乳幼児の臨床心理学
8	思春期・青年期の臨床心理学
9	成人期の臨床心理学
10	高齢期の臨床心理学
11	パーソナリティ理論
12	心理アセスメントの方法と心理検査

13	心理療法論 1：精神分析・ユング心理学
14	心理療法論 2：来談者中心療法と認知行動療法
15	心理療法論 3：システムアプローチと遊戯療法
試験	
【履修上にあたっての準備】	
・授業内容に関わる受講者自身の体験・経験について整理しておくこと	
【授業外学修（予習・復習）】	
・各回のテーマについて自身の知識を整理しておくこと	
・授業内で決定した課題発表の準備を行うこと	
・各回の授業後には、レポート試験を見据え、発表や授業内容についてまとめておくこと	
【評価方法】	
・レポート試験（50%）、課題発表資料の提出（30%）、授業内ワーク・演習（20%）	
【教科書】	
・毎授業回に資料を配布する	
【参考図書】	
・橋本朋広他（2023）『新訂臨床心理学特論』 放送大学教育振興会 ISBN 978-4-595-14191-1	
・丹野義彦他（2015）『臨床心理学』 有斐閣 ISBN-13：978-4641053793	
・金沢吉典他（2023）『現代の臨床心理学5 臨床心理学と心の健康』 東京大学出版会 ISBN-13：978-4130151757	
・熊野宏昭他（2022）『現代の臨床心理学3 臨床心理介入法』 東京大学出版会 ISBN-13：978-4130151733	
・谷岡哲也他（2020）『メディカルスタッフのための精神医学』 中外医学社 ISBN-13：978-4498076983	
・学習指導要領及び解説（小学校・中学校・高等学校）：文部科学省	
その他、授業内でも関連図書を紹介する	